

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

2000年(平成12年)7月15日 No. 1164

目次

岐路にたつロシアの電力分野③	坂口 泉 1
CIS諸国通貨の最新為替レート	13

岐路にたつロシアの電力分野③

—その概要と直面する焦眉の問題—

はじめに 前々回、前回と2回に分け、ロシアの電力分野の現状を紹介してきたが、今回は、第2部として、ロシアの電力分野が直面する焦眉の問題をご紹介します。

2. ロシアの電力分野を襲った2つの激震

(1) 統一電力システム(以下、UES)の改革問題(第1の激震)

1) 改革の動きのバックグラウンド(電力分野が抱える問題点)

ロシアの発電・送電インフラの大半を所有するUESは、最近、電力分野の大幅な改革に関する草案をとりまとめ、今後、最終的な改革シナリオの策定に向け、連邦政府をはじめとする関係機関との間での協議を開始することになっている。

UESが大規模な改革に踏み切ることを決断した背景には、設備投資不足が主因となり、近い将来、発電・送電インフラのメルトダウンが不可避になるのではとの危機感が存在する。ロシア連邦政府関係者の多くもこの危機感を共有しており、UESの描いたシナリオ通りに実施されるかどうかは別として、改革実施の方向で事態が動いていく可能性が非常に高い。

それでは、ロシア電力分野は、何故、大改革を必要とするような窮地に追い込まれたのであろうか。私見ではあるが、その背景には、以下のような問題が潜んでいると思われる。

①少なくともこれまでは、連邦政府も地方行政府も、電力分野を社会・経済的安定を達成す